

Tokyo Tobihino Rotary Club



会長 結城 祐純



幹事 谷 和彦

会長テーマ クラブを再加速する

2023-24 Weekly Report vol.36-07

世界に希望を生み出そう



2023年8月22日(火) 第16420回 通常例会 於:飛火野事務所

■司会 米山記念奨学委員会委員長 河野和正会員

■開会点鐘会長 結城祐純

■ロータリーソング 奉仕の理想 今月の歌

■お客様紹介 会長 結城祐純

高幡不動尊金剛寺 僧侶 五十嵐慈恩様

■ニコニコ報告 親睦委員会委員長 大貫 寿会員

メッセージ後記

■出席報告 出席委員会委員長 葛西晃子会員

報告後記

■会長報告 会長 結城祐純会員

先週はお盆で例会はお休みでしたが、私は仕事から忙しくしておりました。八月九日のガバナー公式訪問は100%の出席率で、大変嬉しかったです。宮崎ガバナーとの懇談会のお話を致します。一つはクラブの現状報告について聞かれ、会員数の減少について話をしました。ガバナーからは、減少の理由、特に新入会員がすぐ退会するという理由でなく、年齢や健康面であるということが分かっているならば、今後増強に努めて下さい、と進言がありました。2つ目は、クラブの活動について聞かれ、フードバンク事業と財団の補助金を活用して一人親家庭の支援をしております。ガバナーからはフードバンク事業は多くのクラブが行っている事業であるので、飛火野クラブとして独自性のある活動、日野クラブさんとの違いを表す活動、また、明確なビジョンを表したら良いと進言をされました。ガバナーより、田中作次(2012~2013 RI会長)のロータリークラブの強化ヒントを書かれたコピーを皆さんに配りましたので、今後のクラブ運営に役立てて参りたいと思いますので、ご協力お願いします。

■幹事報告 幹事 谷 和彦会員

1.9/12に開催されます「公共イメージセミナー」オンライン開催のご案内が届きました。

2.9/15に開催されます「地区ローターアクト」オンラインセミナー開催のご案内が届きました。

3.10/7から9日まで開催されます「RYLA2023」式典のご案内が届きました。

4.秋田豪雨災害義捐金についてのお願いが届きました。

5.米山梅吉記念館から「館報」と賛助会員と特別寄付のお願いがまいりました。

6.函館五稜郭RCより会報が届きました。

7.東京光の家から会報が届きました。

■卓話 テーマ「五十嵐慈恩について」 五十嵐慈恩様

ご紹介に預かりました、高幡不動尊僧侶の五十嵐慈恩と申します。本日はこのような機会を頂きまして誠に有難うございます。前回と比べて倍の30分という時間を頂戴して皆様の胸を借りるつもりで話させていただきます。よろしくお願い致します。

改めて自己紹介致します。五十嵐に「慈」に「恩」と書いて「しおん」と読みます。父と考えて決めた僧侶名です。「じおん」ですと、ガンダムの敵国の名前になってしまうので、「しおん」が良い、と私が主張して決めました。家族構成は3人家族で私は一人っ子です。生まれは東京都江戸川区で、父の実家がお寺で住職でしたが、母と私と一緒に暮らすことを選択してくれて新潟のお寺にはお盆と年末年始に帰るといった生活を送っていました。ですが、昨年、新潟の祖母が年齢的にも危ないのでは?という事で、現在では母を連れて新潟へ帰っております。そのため、前回お話

させて頂いた時は、実家は東京と言えたのですが、現在では実家は新潟となっております。お米とお酒が美味しいところです。私が僧侶になるきっかけは、父が東京で祖母が新潟に一人という状況で、実家のお寺をどうするかとため息ばかりつくようになっていた事でした。母も心配する程元気がなくなっている様子を見て、私が一肌脱いで「お寺を継ぐよ」と伝えました。それまでは、SEとして10年間会社勤めをしておりました。本日は、前置きが少しながくなってしまいましたが、私、五十嵐慈恩という人間がどのように形成されてきたのかを、少しエピソードを交えつつ、皆さんに「こういう背景があって今こうなっているのか」というのを、皆さんに知って頂ければと思っております。

まず、私の特徴は「歌が好き」「メチャ汗かき」「チツって言う」です。3つ目については、普段、結城部長からのイジリの一つです。その所以は、憶測になりますが、私たち僧侶は本山での修行時代に、経頭の出声の高さや速さに合わせるようにと口酸っぱく注意され、徹底されます。ですが、お寺でそれを守らない人がいる場合に、私がそれに納得ができず、不服な表情をしていたところを結城部長に見られたことなのかなと思っております。「歌が好き」というのは本当に歌が好きで、特にB'zが大好きです。B'zわかる方いらっしゃいますか?今年35周年を迎えてツアーの真っ最中なのですが、お大師様の生誕1250年と重なっていることに先日気づき、不思議な縁を感じています。それでは、幾つかのエピソードをまじえて私の事をお話したいと思います。

先ほど「メチャ汗かき」とお伝えしましたが、結城部長の様にスタイルを維持できないのが難点ですが、こう見えて体を動かす事が好きで、小さいころから空手、剣道、大学では合気道を学びました。空手と剣道に至っては小学校の頃からで、空手は父が子供教室の先生をしていたことから半強制的に始めたのですが、剣道を始めたきっかけは、喘息を治すためにと通い始めた水泳教室でした。近くの市民会館に通っていた際に、防具と竹刀を持ち歩いている人を見かけ、母にチャンバラに似たようなものだよと教えてもらい、実際に剣道場まで見に行き試合している様子を見てカッコいいなって思っ始めました。剣道は高校まで続けましたが、特に中学校の時に、所属していた町道場の剣道とは異なる部活の剣道に魅せられ、剣道部に入部しました。好きで始めたことなので、熱心に練習もするしトレーニングもしました。その甲斐あって、江戸川区の個人戦で優勝したこともありましたが、やはり勝てないことが続くと当時の私はどんどんへこたれていってしまいました。その様子をみた母と顧問の保健の先生から「もっと楽しんでやらなくちゃ。楽しんでやっている時が一番輝いているんだから」と言われ、最初は納得し辛かったです。否が応でも勝ち負けがついてまわる世界なので「楽しんでと言われても」という思いがありました。ですが、その内、勝ち負けで一喜一憂するよりかは、兎に角、己のスキルを上げていこうという方向に楽しみを見いだせるようになり、その甲斐あって、中学3年生の最後の夏の大会では、主将として母校初の剣道部団体戦優勝勝ち取ることができました。「勝ち取ることができた」というのも理由があって、団体戦イブンになって代表戦にもつれこんだのですが、その代表戦で私が大将として出て、見事勝利をもぎ取る事ができたという、私の数少ない輝かしいエピソードの一つです。その頃から、「好きこそものの上手なれ」という言葉が好きで、剣道に限らず大学で習った合気道もその期間で取得し得る最高段位までは到達しまし

た。高校、大学は中学までとは違って華やかなエピソードは無いのですが、バリバリの体育会環境だったお陰で、上下関係のある生活には慣れました。特に大学4年間ではそんな環境下でも得るものが多く、目の前の事に我武者羅に取り組むといったことや、どんなに辛い事でも終わりが無い事はないという事を学びました。部室のロッカーにOB先輩が残したと思われる「明けない夜はない」という言葉が印象的でした。

少し時期が遡り、小学生の頃なのですが、こう見えて凄くけんかっ早く、短気な子供でした。小学校2年生の頃、私のけんかっ早さが学年で問題となり、母が学校に呼び出される事態となりました。私は母が出てくるまで訳も分からず校庭で待っていました。出てくるなり、肩をつかんで言いました。「あんたそんなけんかっ早くてどうするの？相手に怪我させて入院でもさせたらどうするの？もし死んじゃったらどうするの？」と泣きながら説き伏せられました。初めて泣いている母をみた記憶しているのがこの時でした。続けて母は言いました。「イライラした時はまず深呼吸をしろ。収まらなかつたら何回でもやりなさい。頭が絶対冷静になるから。瞬間の怒りに任せてはだめ」と。子供ながらに泣かせてしまったという思いが強く、以降、イライラしても深呼吸する術を身につけましたが、逆に溜め込む性格になってしまった様にも思います。周りの子と衝突する様な事はなくなり、グッと耐えるようにはなりましたが、反面、小さい時にも関わらず感情を抑える癖が早くつきすぎたのかなと思うところもありますが、それでも母が諭してくれたことには凄く感謝しています。

時系列はまた最近に戻りまして、会社員をしていた頃の話になります。SEという職種は、すごく論理的思考が求められる職業です。自分で作ったプログラムが実際に設計書通りに動けば成功ですが、そうではない事ももちろんあります。私がまだ新人だった頃に先輩から「ポリシーをもって取り組みなさい」と指摘いただきました。ポリシーとは英語の直訳では政策、方針、規定などですが、外来語としては信条、信念として解釈されています。この言葉を頂いたシチュエーションとしては、SEという職業の特性上、考え方にブレがでるようでは作るプログラムにもブレがでる可能性があって困るというものでした。判断軸をもって仕事に取り組みなさいという事でした。もう一つは私が僧侶になると決めてやる前の5年間、チームリーダーとしてお客さんとの打ち合わせに参加する機会も多く、そんな中、経験豊富な協力会社さんから頂いた言葉でした。「当たり前のことを当たり前のようにできるようにになりなさい」現場が新しくなって、不慣れなこともまだある中、ミスが続いた私にかけてくれた言葉でした。次から次へ新しいことがあって最初はあたふたしてしまうかもしれないけど、どんなこともこれがごく普通と思えるように取り組むようにすれば、作業についての緊張も凡ミスもなくなってくるから、励ましを込めた言葉でした。実は全く同じ言葉を結城部長から頂いた事がありまして、そのお二人に共通している事は、自負をもって頑張ってきた、積み重ねてきた物があるからこそ堂々としていられる、自信をもって職務をこなすことができるということでした。だからこそ、日々のいかなる業務もあるべき姿がわかって取り組むことができるのかなと思っています。

修行僧時代については、前回お話しした内容とかぶってしまいますが、「十善戒」というものが凄く心に残っています。こちらは、ロータリークラブのバックナンバーでご確認頂ければと思います。

最後にお坊さんらしいことを一つ。本山での修行僧時代に「仏性」という言葉を習いました。仏性というのは文字通り、「私たちに備わっている仏の性質」を指します。私たちの宗派には即身成仏という言葉があり、即身成仏とはこの身このまま「成仏」できることを言いますが、成仏するというのは、仏である自己を認識するということです。では、仏である自己を認識するというのは、どういうことなのかと。私は、仏性の認識ではないかと思っています。では、仏性はいつ認識できるのかですが、それは何かに一生懸命に取り組む瞬間ではないかと結論づけました。何故かとい

うと、一生懸命に物事に取り組む際は雑念や不安などは気にならなくなりますよね。それはさながら、泥の中から埋もれることなく咲く蓮華であり、仏性は蓮華にたとえられます。つまり一生懸命に取り組む姿は、一番仏に近づいているのではないかと。先ほど、皆さんにお話ししたように、私の場合であれば剣道であつたり、歌であつたり、何かに熱中している時というのは凄く清々しい気持ちになれる時間だと思いますので、皆様も是非、熱中できるものを見つけて、仏になって頂ければと思います。以上で終了とさせていただきます。ご清聴頂き、ありがとうございました。

■謝辞 会長 結城祐純会員

五十嵐先生、卓話ありがとうございました。ご自身の生い立ち、そしてお母さんの慈愛のあるお話を頂き、また、空手、剣道、合気道をやっているとは知らず、今後の付き合いを少し考えなくてはいけないと思いました。それは冗談ですが、前は15分、そして今日は30分お話し頂きましたが、次回は1時間くらいお願いします(笑)

■閉会点鐘 会長 結城祐純会員



出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1642回	21	19	0	-	2	90.4
第1630回	21	19	1	0	1	95

ニコニコBOX 本日 27,000円 累計 212,000円
本年度目標額1,200,000円 達成率17.6%

※今週のメークアップ なし

※先々週の後メークアップ なし

ニコニコメッセージ

結城祐純さん・五十嵐慈恩先生卓話よろしくお願い致します。楽しみにしていました。

守重昌さん・7/中旬にコロナに罹患し、一カ月経ってようやく回復しました。ご心配、ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。二度とコロナに感染しないよう願うばかりです。本当に辛かったです。

梅田俊幸さん・残暑お見舞い申し上げます。今日は蒸し暑いですが、皆様ご自愛下さい。

小高俊明さん・五十嵐しおん先生、本日の卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。

渡邊良勝さん・「誕生日祝」を頂き有難う御座いました。今年の誕生日から、ゴルフ場に行っても「免税業者」扱いになりました。プレー後の精算時に適格請求書は来ないはずですが、免税分、売店でビールに代わる代金なので支払額は同じでしょう。

河野和正さん・五十嵐様本日の卓話よろしくお願い致します。

葛西晃子さん・日曜日にお仕事で大貴さんのお宅へお伺いした時に、2019年の豊田ビールをいただきました。早速その日の夜に頂いたのですが、なんとともろやかで最高に美味しいビールで感動しました。豊田ビールは熟成させると美味しいと聞いた事がりますがいつも待ちきれずにすぐに飲んでいました。是非皆様も4、5年熟成させてから飲んでみて下さい。美味しいビールを作る為の大麦は大貴さんが育てています。

山本光一さん・本日は久しぶりに少し涼しいです。

大貴 寿さん・まだまだ暑い日が続きます。皆様熱中症には充分気をつけましょう。五十嵐様本日はよろしくお願い致します。